

知っていると便利！にほんごのオノマトペ

第3かい 食

こうえきしゃだんほうじん こくさいにほんごふきやうきやうかい 公益社団法人 国際日本語普及協会 武田 由美 イラスト：リオ輔



①最近の夏は長くて、とても暑いんですね。たくさん汗が出ます。水やジュース、お茶などが飲みたくなります。何か飲みたいとき、「喉がかわきました」と言います。とても喉がかわいたときは、「喉がカラカラ」と言います。暑くて、何か飲みたいと思っているとき、「暑すぎて、もう喉がカラカラです」と言います。そして、たくさん飲んでいるときは、「ゴクゴク飲んでいきます」と言います。水を飲んでいるとき、喉から「ゴクゴク」という音が聞こえてきませんか。「今日は暑かったですね。ビールをゴクゴク飲みたいです」のように使います。



②今朝は寝坊しました。朝ご飯を食べませんでした。今、午後1時です。何か食べたいです。食べたいときには、「お腹が空きました」と言います。とてもお腹が空いたときは、「お腹がペコペコ」と言います。「ペコペコ」は「凹む」と音が似ています。「凹む」は漢字の形と同じでそこだけが下にくぼんでいることです。体の真ん中にあるお腹だけが薄くなっているみたいです。とてもお腹が空いているとき、「朝から何も食べていないから、もうお腹がペコペコです」と言います。



③それから、食べ方に使うオノマトペがあります。そばやうどんのような麺を食べているときには、「ズルズル」とか、「ズズッ」と音をたてます。日本では、麺を食べるときには音を出します。マナーが悪いと思う国の人にもいるかもしれません。でも、日本では音が大きいことはおいしいことなのです。それに、音を出すと、空気がいっしょに口の中に入ってきて、熱いそばやうどんを冷ますことができます。「ズルズル」や「ズズッ」という音を聞くと、店の人は嬉しいです。みなさんが「おいしいです」と言っているみたいです。

オノマトペとは

オノマトペは、音や声、様子を言葉で表したものです。「ドアをトントンたたきます」や犬が「ワンワン鳴いています」、「星がキラキラ光っています」のように使います。日本語で「擬音語」「擬声語」「擬態語」と言います。

日本語には、たくさんオノマトペがあります。日本人はいつもオノマトペを使います。オノマトペを使うと、楽しく話すことができます。